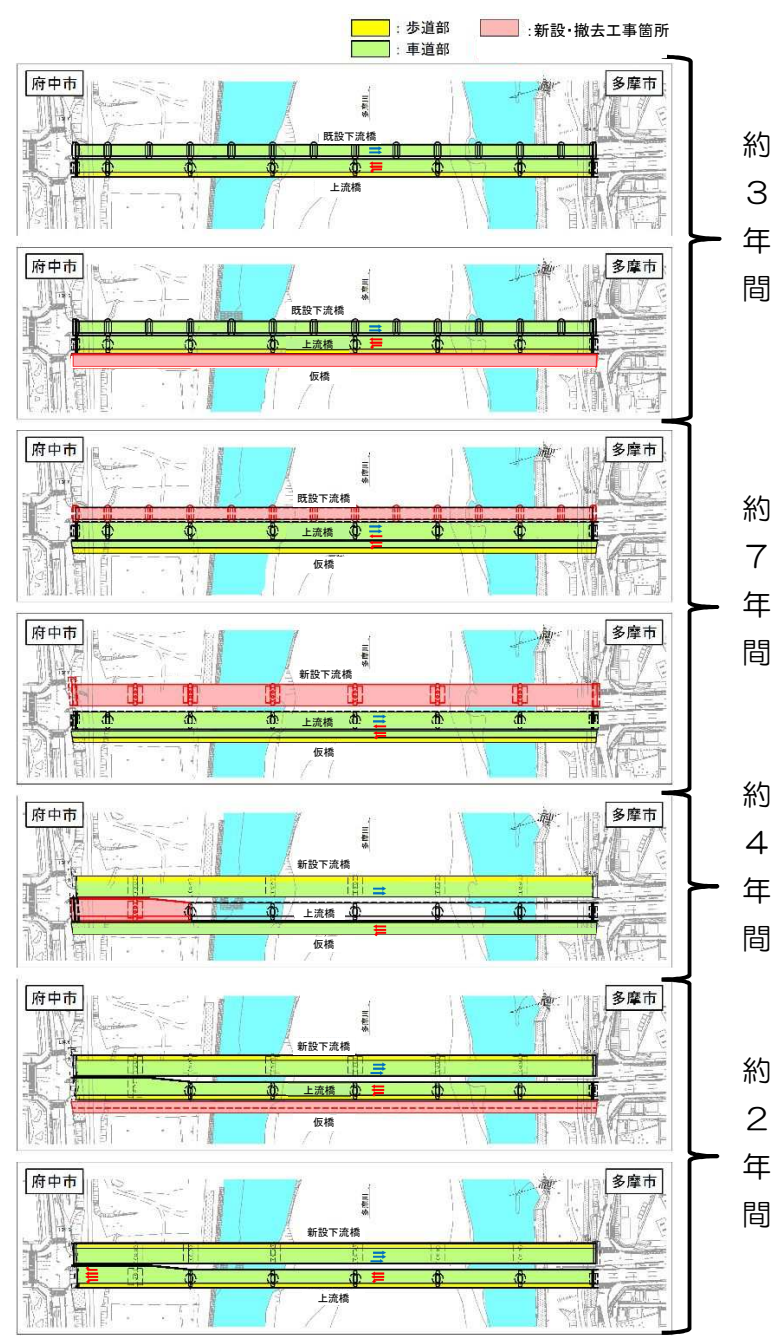
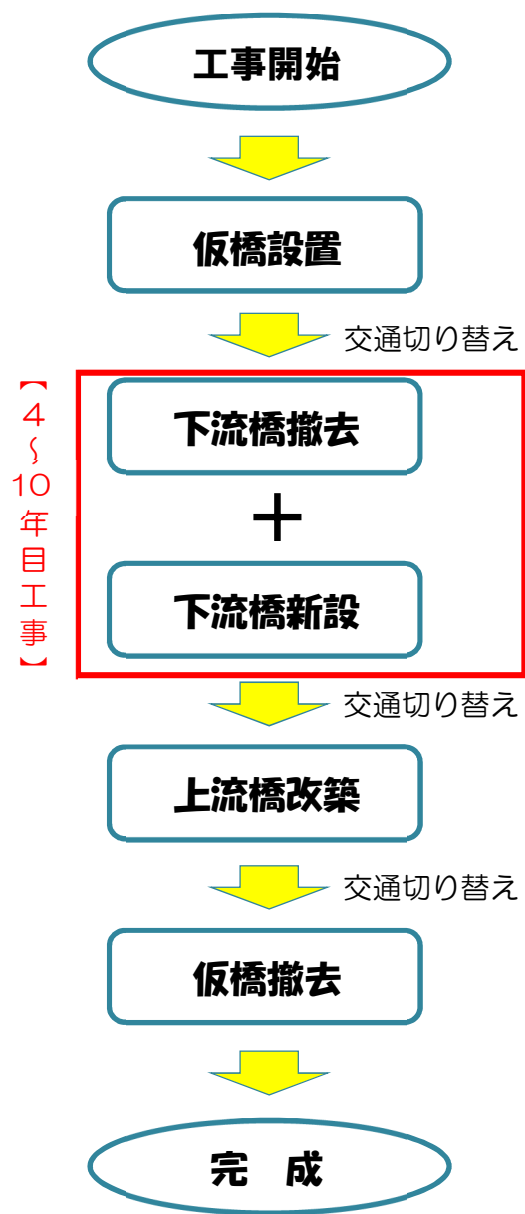


■ 関戸橋架け替え工事手順



約3年間
約7年間
約4年間
約2年間

【4～10年目工事】

【お問い合わせは・・・】

○事業全般に関すること
 東京都北多摩南部建設事務所
 工事第一課 設計担当 ☎ 042-330-1838
 〒183-0006 東京都府中市緑町1-27-1
<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/kitanan/>
 ※「関戸橋通信」バックナンバーは、HPにて公開中です。

○仮橋に関すること
 東京都南多摩東部建設事務所
 工事課 道路設計総括担当 ☎ 042-720-8643
 〒194-0021 東京都町田市中町1-31-12
<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/nantou/>



関戸橋通信

～多摩市と府中市を結ぶ
 関戸橋架け替え事業～



Vol. 9
 2022.3

発行
 東京都北多摩南部建設事務所 工事第一課
 東京都南多摩東部建設事務所 工事課
<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/kitanan/>
 ※「関戸橋通信」バックナンバーは、HPにて公開中です。



新しい関戸橋の完成イメージをご紹介します

日頃より東京都の道路整備事業に、ご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。
 この度、新しい関戸橋の完成イメージがまとまりましたので、ご紹介します。
 初代関戸橋は約80年間にわたり、地域のシンボルとして皆様に愛されてきました。その一部は、地元の皆様のご要望を受け、「ろくせび公園（多摩市）」と「中河原公園（府中市）」に保存されています。

新しい関戸橋は、地元の皆様のご意見をお聞きしながら、地域の歴史を尊重し、初代関戸橋の威厳と品格を継承するとともに、皆様に末永く愛される、シンボリックかつ存在感のあるデザインとしました。

新しい関戸橋の完成に向け、着実に工事を進めてまいりますので、引続き、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

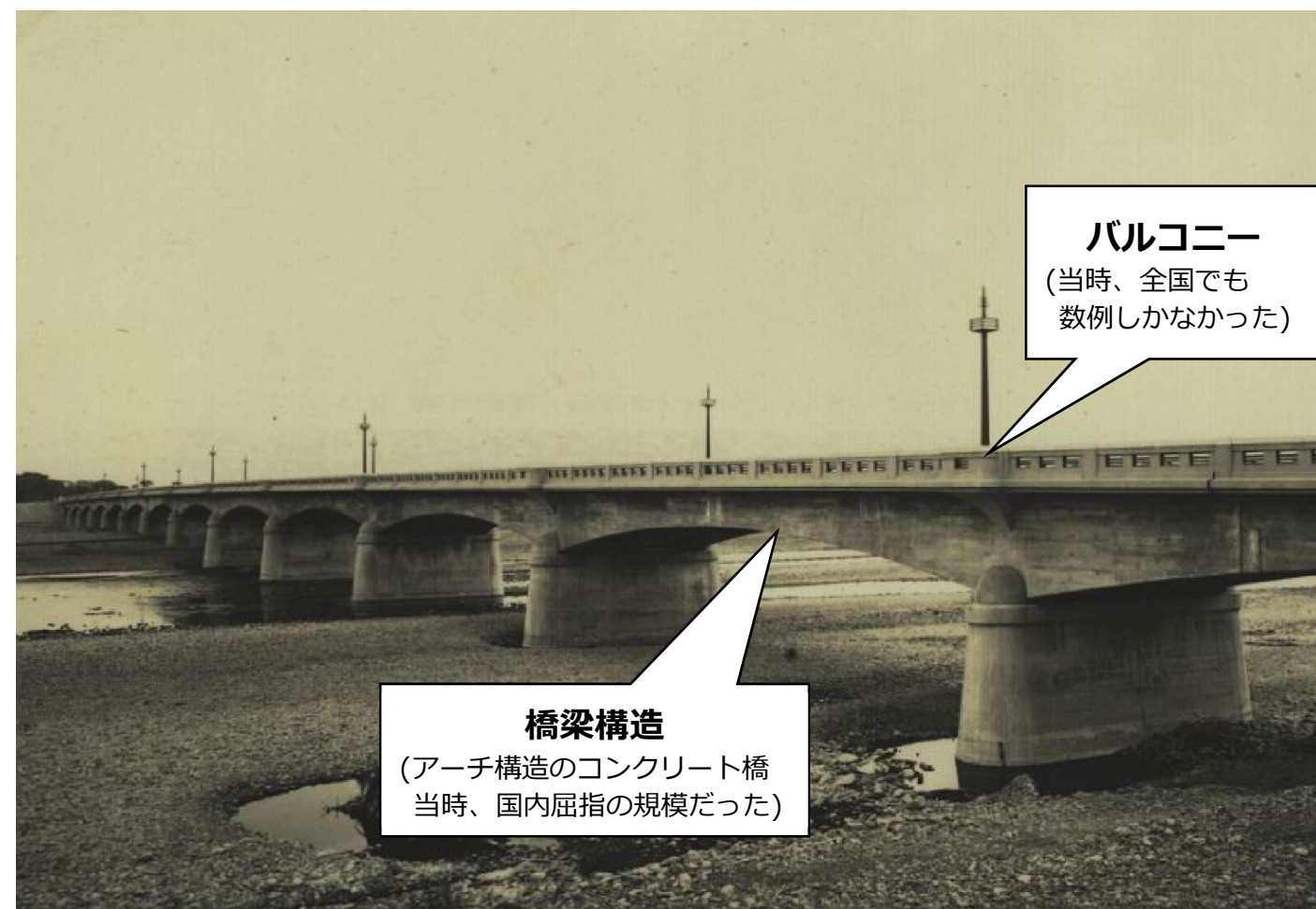
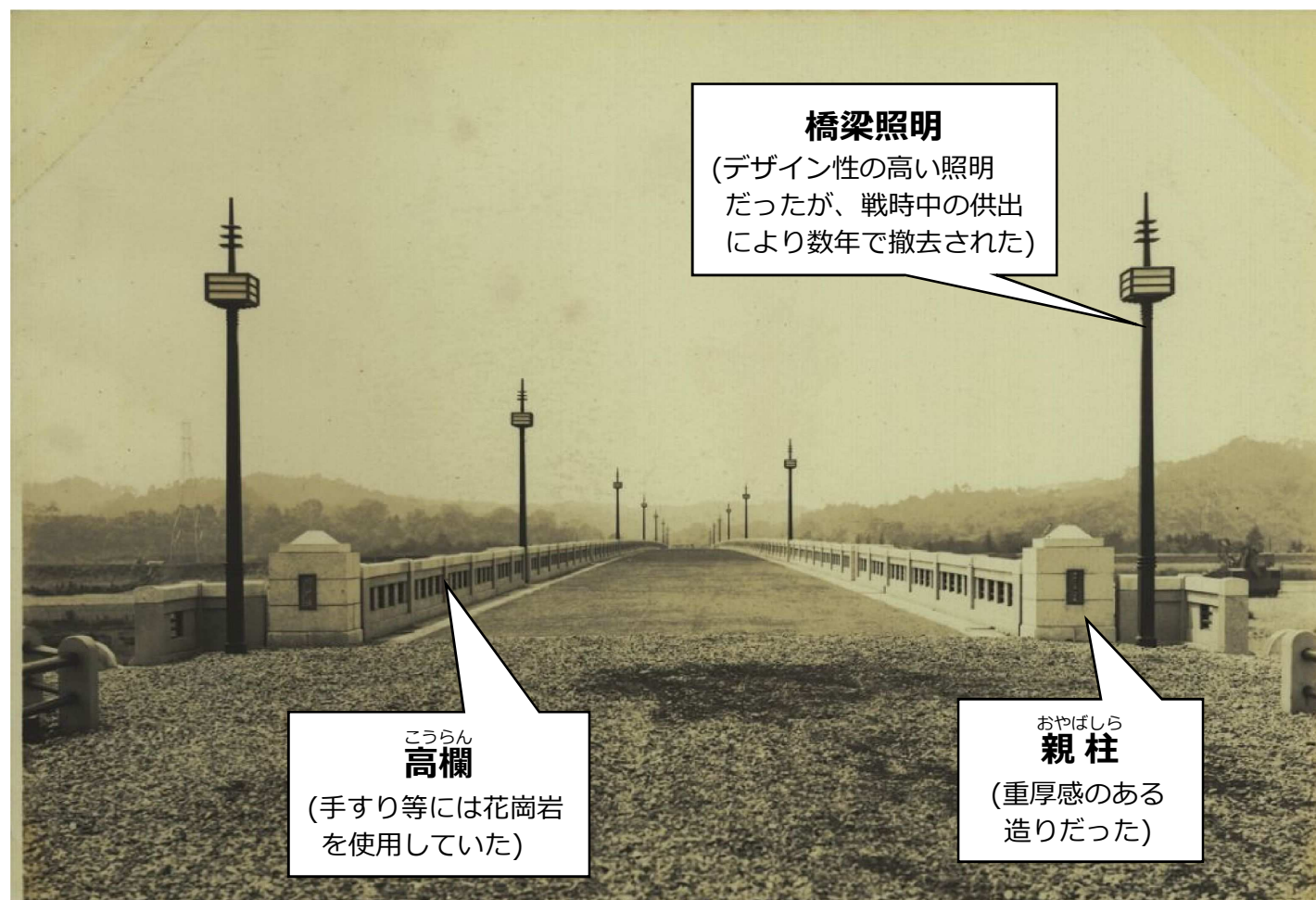
東京都北多摩南部建設事務所長
 東京都南多摩東部建設事務所長



イメージの詳細は次ページ以降をご覧ください ➡

みなさまに愛された初代関戸橋

(※写真は昭和 12 年架橋当時の初代関戸橋)



初代関戸橋は鉄筋コンクリート造で、当時としては国内屈指の規模を誇る立派な橋でした。

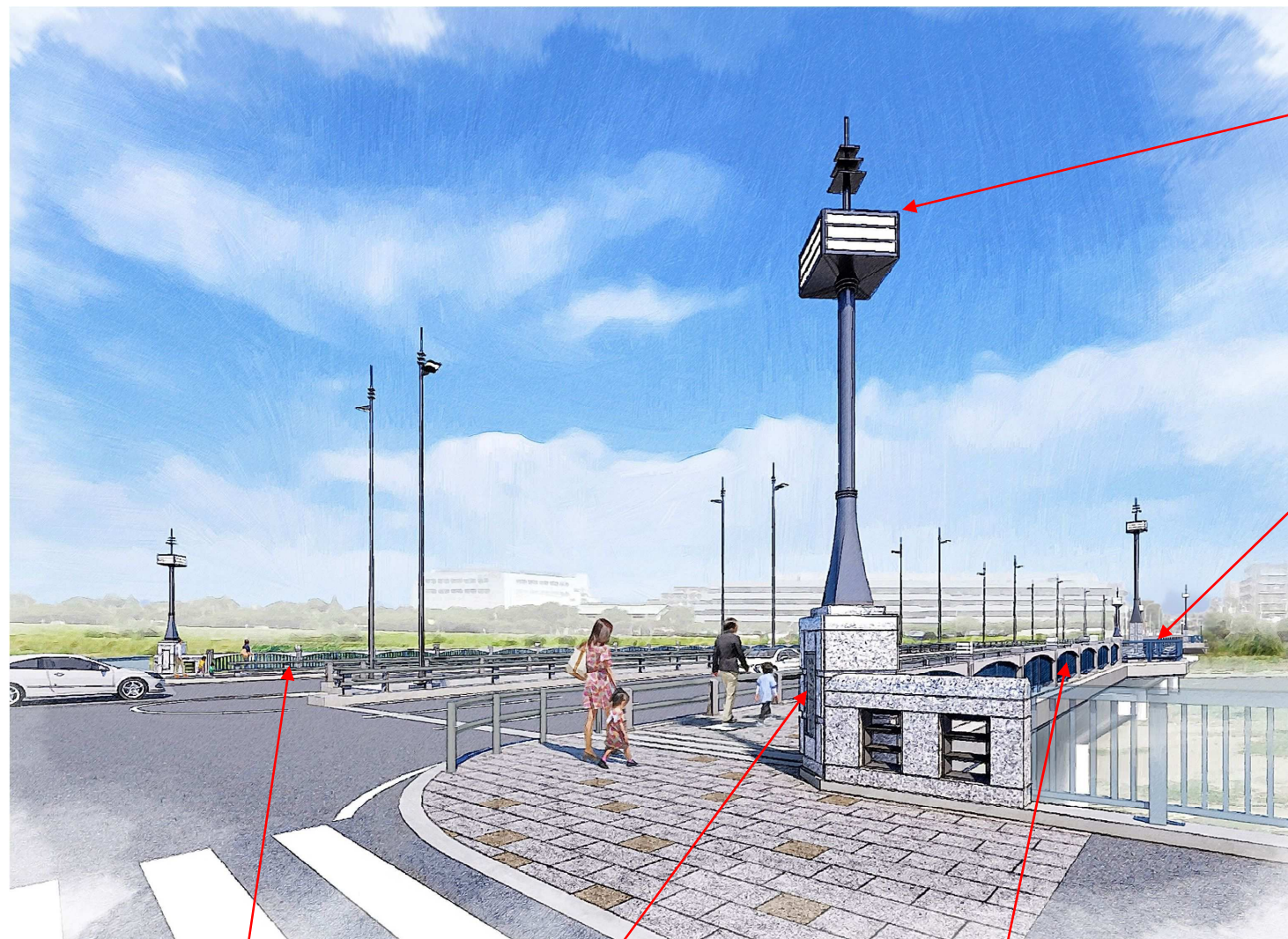
この地域は、鎌倉街道が多摩川を渡る歴史的な要衝であり、明治天皇も行幸されるなど、長い歴史を有しています。

昭和初期に地域の発展を願う地元の強い要望により、この橋が架けられました。

新しい関戸橋は、
初代関戸橋の威厳と品格を継承する
デザインとしました

新しい関戸橋の完成イメージ

おやばしら
親柱周辺
(下流橋の多摩市側から府中市側を望む)



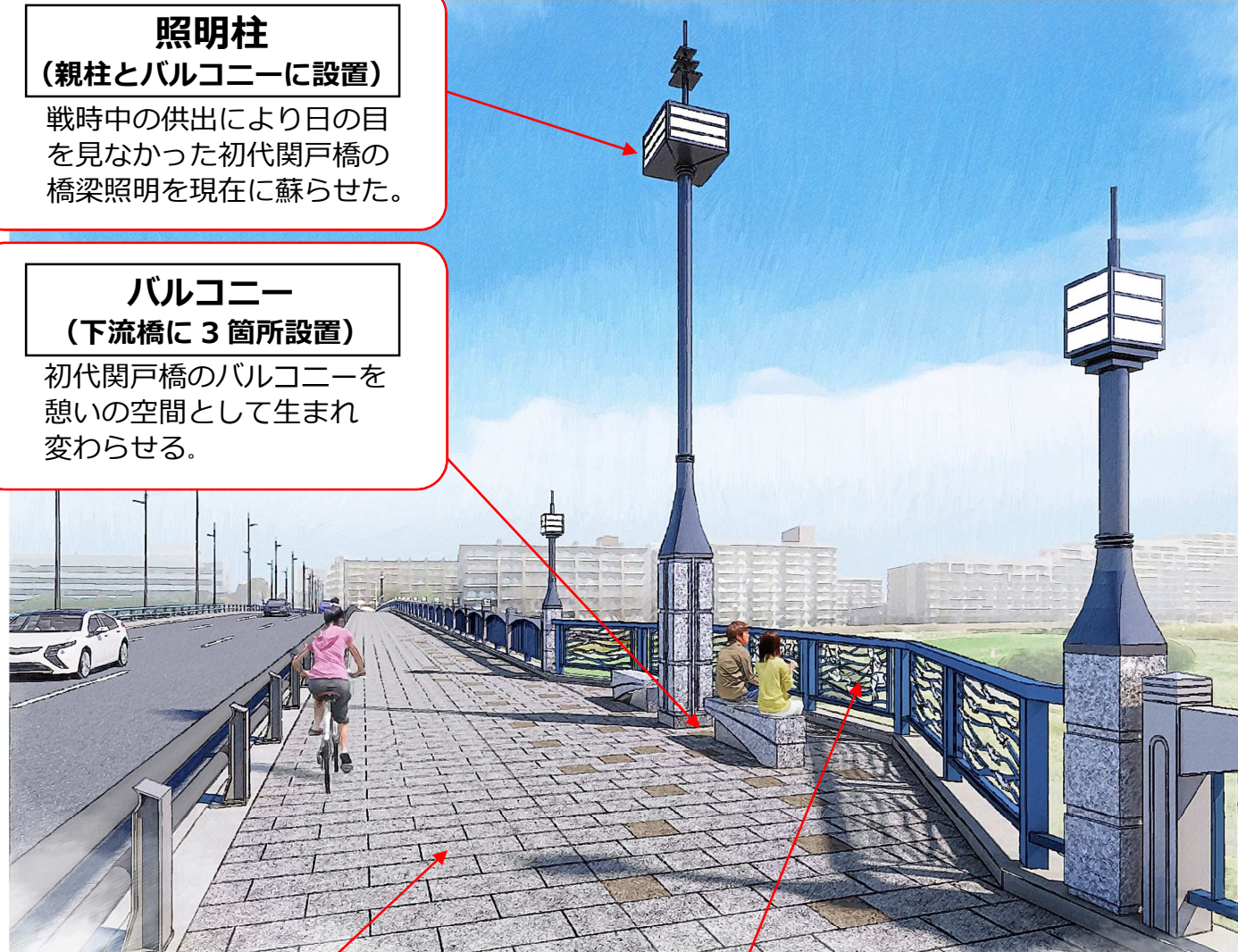
おやばしら
親柱
初代関戸橋の親柱を再現。

こうらん
高欄
初代関戸橋のアーチ構造をモチーフ。

上流橋のデザイン

下流橋と同じデザインの親柱・高欄・歩道舗装にする。
(上流橋の架替えは一部分以外行わないため、バルコニーは設置しない。)
(上流橋の歩道幅員では、自転車と歩行者の通行帯を分離できないため、歩道舗装の色分けはしない。)

バルコニー周辺
(下流橋の歩道部から府中市側を望む)



照明柱
(親柱とバルコニーに設置)
戦時中の供出により日の目を見なかった初代関戸橋の橋梁照明を現在に蘇らせた。

バルコニー
(下流橋に3箇所設置)
初代関戸橋のバルコニーを憩いの空間として生まれ変わらせる。

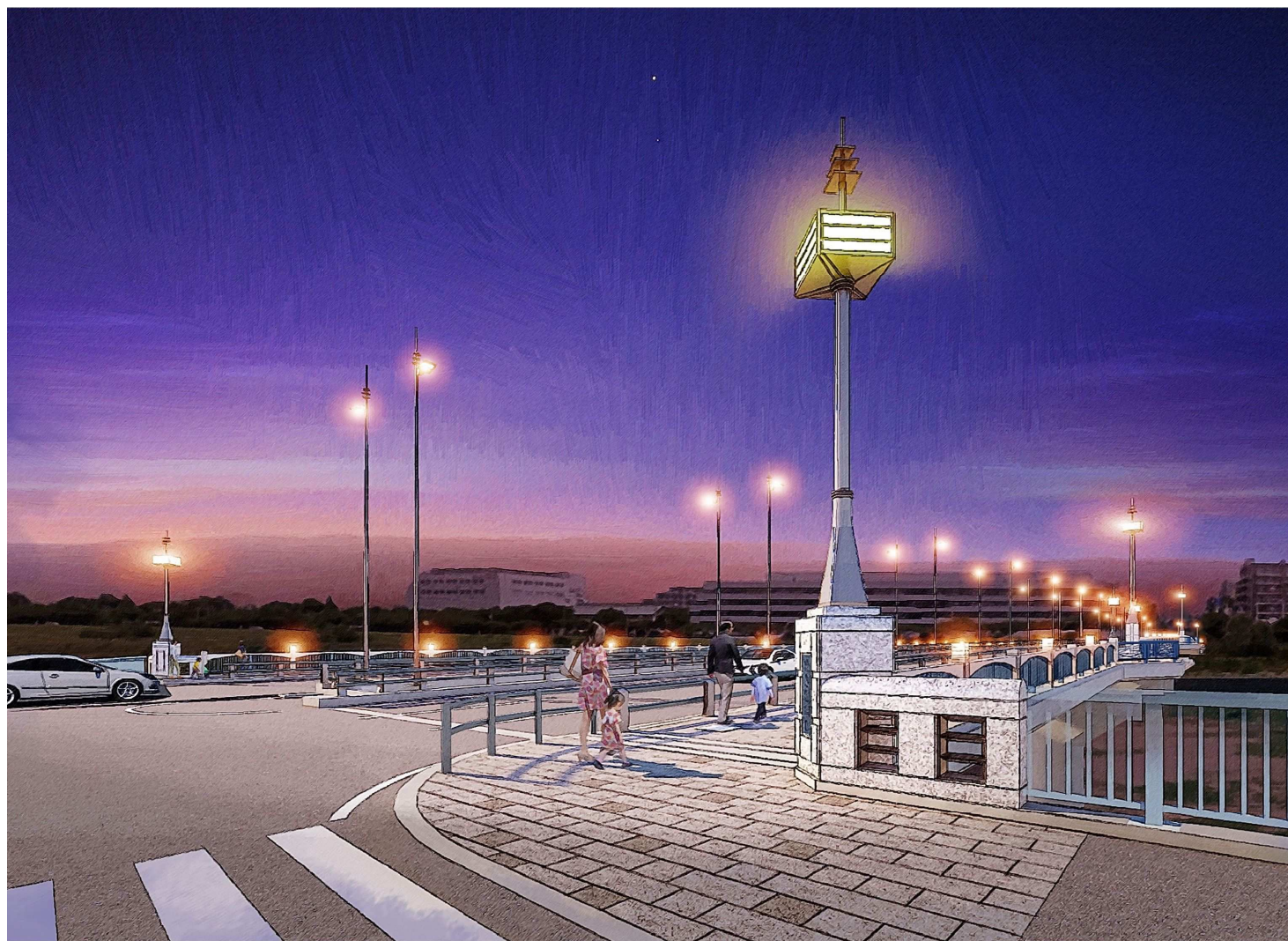
歩道舗装
親柱や高欄と調和した石畳風の舗装。
(下流橋の歩道については、自転車と歩行者の通行帯を色分けする予定。)

こうらん
バルコニーの高欄
うかいやあひなど地元ちなんだデザイン。

※細部のデザイン等は今後変更となる場合があります。

(夜の風景)

おや ばしら
親柱周辺
(下流橋の多摩市側から府中市側を望む)



バルコニー周辺
(下流橋の歩道部から府中市側を望む)



親柱とバルコニーの照明に加え、
高欄上部にも暖色系の照明が連続的に配置
されることで光の帯が両岸を結びます

※細部のデザイン等は今後変更となる場合があります。